

EV試験に最適！ システム計測に対応した同期計測ソリューションの提案

市場：自動車・輸送機器 高速データアキュイジションユニット SL2000/
スコープコーダ DL950/ 統合計測ソフトウェアプラットフォーム IS8000

EV 開発現場に最適 効率的・高精度な同期計測



背景

EVの普及に伴い、完成車検査では高電圧バッテリーやインバータなど複数の電動コンポーネントを車両全体として統合的に評価する必要があります。これらは車両内の異なる位置に配置されており、加減速や回生動作などの動的条件下での高精度な同期計測が求められています。時刻同期技術を活用した分散計測と、膨大な波形データの効率的な抽出・分析が重要です。

課題

従来の計測器ではチャンネル数や同期精度に限界があり、複数機器の同期計測や長時間の実測評価が困難でした。特に、車両内の分散配置された測定ポイント間での高精度な同期計測や、膨大なデータからの異常抽出・分析が課題です。これらに対応するには、チャンネル拡張性と時刻同期技術、さらにデータ解析ソフトウェアの導入が不可欠です。



SL2000 による課題解決

- 多彩なプラグインモジュール
- 同期運転によるチャンネル拡張
- AC/DC 変換、DC/AC 変換の高精度効率測定
- IEEE 1588、GPS による同期計測
- 直観的に使えるアキュイジションソフトウェア

多チャンネル/同期計測に最適な 計測ソリューション

SL2000は、光ファイバーやIEEE 1588、GPSなど多様な同期手段に対応し、最大160チャンネルの多チャンネル計測を高精度に実現します。DL950との同期運転やIS8000によるデータの一元管理により、複雑なEV計測を効率的かつ柔軟にサポートします。



価格：84.2万円～

IS8000でのCANバス通信の解析

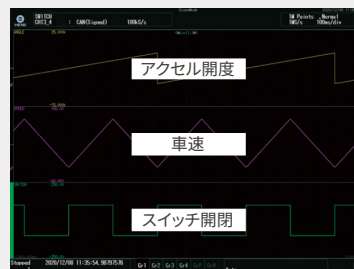


- 通信内容のデコード、フレーム表示や検索が可能
- SL/DL シリーズだけでなく、オシロスコープ (DLM シリーズ) で取得した信号波形の解析も可能
- 過去に測定した波形の解析も可能

本体価格 (サブスクリプション) : 4万円～

本体価格 (買い切り) : 20万円～

CAN FD/LIN モジュールによる解析例



CAN FD/LIN モジュール (左)
SENT モジュール (右)

- 電圧・電流、温度、加速度やトルクなども同時計測可能
- CAN/CAN FD/LIN/SENT に対応

モジュール価格 : 11.6万円～

CAN FD/LIN モニタモジュール : 37.9万円～

プレジジョンパワーアナライザ WT5000



- 世界最高クラスの電力確度
- モジュラー構造による柔軟な拡張性
- 最高 10 MS/s、18 bit 分解能
- 最大 7 入力の同時電力測定
- 最大 4 モーター評価機能 (オプション)
- タッチパネル付き 10.1 型 WXGA ディスプレイ
- 電流センサーを直結する電流センサーエレメント
- 最高 2 MS/s 波形ストリーミング (オプション)

本体価格 : 85.2万円～

エレメント価格 : 37.6万円～

プレジジョンパワーアナライザ WT1800R



- クラストップレベルの高精度
- 広いダイナミックレンジ
- 待機電力から稼働時の消費電力まで幅広く対応
- 最大 6 入力の同時電力測定
- 統合計測ソフトウェアプラットフォーム IS8000 によって消費電力とインバータ波形の相関関係把握が容易
- モーターパラメータ解析を含む多彩な演算機能で支援

本体価格 : 88.1万円～

横河計測株式会社

本 社 〒192-8566 東京都八王子市明神町4-9-8
TEL:042-690-8811 FAX:042-690-8826
ホームページ <https://www.yokogawa.com/jp-yimi/>

製品の取り扱い、仕様、機種選定、応用上の問題などについては、
カスタマサポートセンター ☎ 0120-137-046 までお問い合わせください。
E-mail : tmi-cs@csv.yokogawa.co.jp
受付時間 : 祝祭日を除く、月～金曜日 / 9:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせは

YMI-N-J01